



ハノイ便り

国際交流基金ベトナム日本文化交流センター
日本語指導助手 井上 貴子

ご挨拶

皆さん、こんにちは。2012年3月に早稲田大学大学院 日本語教育研究科(以下:日研)を修了した19期の井上貴子(いのうえ たかこ)です。日研では、池上摩希子先生の指導のもと、高校留学生を対象に研究を行ってきました。

現在は、ハノイにある国際交流基金ベトナム日本文化交流センター(以下:JF)で、日本語指導助手として勤務しています。2012年4月3日に赴任し、これからの2年間、ベトナムの日本語教育に関わり支援を行っていく予定です。

海外での教授経験は、今回のベトナムが初めてのため、自分の力不足を感じる事が多々ありますが、一緒に働いているスタッフや専門家の先生方に、助けていただきながら業務を行っています。

今回の「ハノイ便り」を通して、ベトナムの日本語教育に少しでも興味・関心を持っていただけたら嬉しいです。

MENU

- 1) ベトナムの日本語教育
- 2) 業務内容
- 3) 日研での学びが、ベトナムでどのように活かされているのか。
- 4) ベトナムでの生活

排気ガスと日除けのために、暑い日でも長袖・マスク・サングラスは欠かせないようです。



1) ベトナムの日本語教育

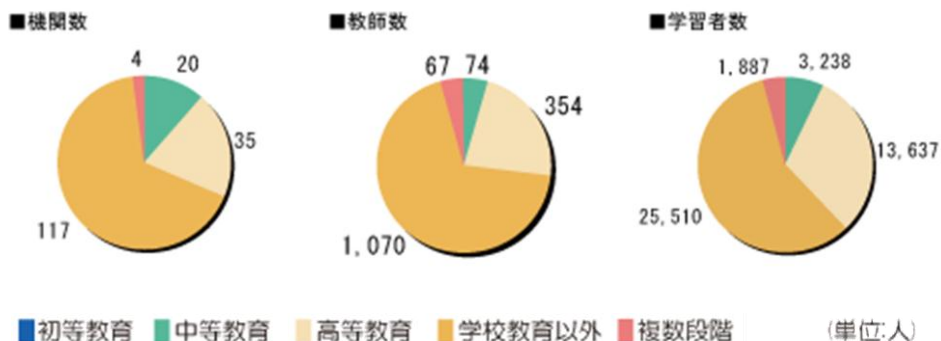
ベトナムの日本語教育は、中等・高等教育機関、その他社会人を対象とした学校教育以外の教育機関のほか、従業員に対する企業内教育等が行われています。学校教育以外の教育機関の学習者が最も多く、次いで高等教育機関、中等教育機関の順となっており、小学校では日本語は教えられていません。

1961年にハノイ貿易大学、1973年にハノイ外国語大学(現ハノイ大学)で日本語教育が開始され、その他の国立大学や私立大学でも日本語教育が開始されました。当初は日本語学科として始まったものを、日本語学部に昇格させる動きも見られます。

2003年には、「中等教育における日本語教育試行プロジェクト」(以下、中等プロジェクト)が立ち上げられ、中学校や高校で第一外国語科目としての日本語教育が実施されています。

以下、機関数と教師数、そして、学習者数を示したものです。

2009年海外日本語教育機関調査結果



2) 業務内容

次に私の業務内容について紹介します。私の業務は、主にハノイ市内にある中学校の日本語授業を担当したり、JF の日本語教師向け講座の担当をしたりしています。また、JF 主催の行事の企画・運営や3カ月に1回、ベトナムの日本語教育関係者に向けて「ニュース レター」の執筆・配信も行っています。

ベトナムの中等教育のみならず、高等教育にも関わることができ、非常に貴重な経験をさせていただいています。

JF 主催の行事

「日本語フェスティバル 2012」

11名のスピーチ出場者と4組のパフォーマンス部門による発表が行われました。



ベトナムに赴任してすぐ、「日本語フェスティバル 2012」の企画・運営を任されたため、非常に大変でしたが、無事終わることができて一つ自信ができました。

JF 主催の行事

「日本語教育セミナー」

国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター所長 迫田久美子先生を講師に招き、ベトナム人日本語学習者に発音指導を行うにあたり、教室でも実践可能な発音指導とは何かを考えるためのセミナーを行いました。



日本語教育セミナーの広報や参加者募集、そして運営までを担当しました。「日本語フェスティバル 2012」もそうですが、0から一つの行事を作り上げる過程は、日本語教育実践研究(1)「にほんご わせだの森」(以下:森)と似たようなところがあり、森での経験を活かすことができました。

日々の業務 In Vietnam

中学校の日本語授業

ハノイ市内にある、Thuc Nghiem 中学校で、週4コマの日本語授業を、カウンターパートであるベトナム人教師(以下 GP)と共に、チームティーチング(以下 TT)で授業を行っています。

また、Ly Thuong Kiet 中学校で、「文化紹介」を行う機会がありました。「子どもの日」にちなんで、新聞紙でかぶとを作ったり「しりとり歌」を歌ったりしました。



元気いっぱいの中学生から、たくさん元気を貰いながら、日々の授業を行っています。

JF の日本語教師向け講座

教師のための日本語講座「ニュースで学ぶ日本語2」

私と日本語上級専門家が担当となり、実際のニュース番組を見たり新聞記事を読んだりしながら、主要な点を理解できるような日本語力を身につけるための日本語講座を開講しています。対象は、大学・日本語学校・企業等で日本語を教えている N2 ぐらいの日本語力があるベトナム人日本語教師です。

教師のための日本語講座
「ニュースで学ぶ日本語2」



私よりも教授歴のある、ベトナム人日本語教師が対象のため、大きなプレッシャーを感じていますが、日本語上級専門家やベトナム人日本語教師に助けをいただきながら講座を行っています。。。笑

「ニュース レター」

3カ月に1回、ベトナムの日本語教育関係者に向けて「ニュースレター」の執筆・配信を行っています。

「書く」のが苦手な私が、「ニュース レター」を書いて良いものか…、と思いながらの執筆でしたが、たくさんの方からの協力を得て、無事、6月末に第1号を配信することができました。現在は第2号配信に向けて準備を進めています。



3) 日研での学びが、ベトナムでどのように活かされているのか。

ベトナムの日本語教育に関わる中で感じた大きな壁は、「私よりも教授歴のあるベトナム人教師に何ができるのか」ということでした。中学校の日本語授業で、CP と一緒に TT で授業を行ったり、JF の日本語教師向け講座を行ったりしていく中で、ベトナム人日本語教師全員が、私よりも経験があり年齢も上のため、非常にプレッシャーを感じていました（今も変わらず、感じていますが・・・）。

しかし、中学校の日本語授業の準備を行う際は、CP と「話し合う」ことを諦めず、「向き合う」姿勢を持ち、対応するよう心がけています。

私は日研在学中に、日本語教育実践研究(1)「にほんご わせだの森」を受講してきました。森では、一つひとつの活動を作るために、受講生と数えきれないほどの話し合いを行ってきました。この話し合いは、お互いを理解できるだけではなく、信頼関係を作ることに繋がると考えています。勿論、お互いを 100%理解することは難しいでしょう。しかし、CP と授業準備のための話し合いを重ねるうちに、CP のベトナム人日本語教師が何をやりたいのか、どのような授業を目指しているのかが少なからず、分かるようになってきました。そうすることで、CP がやりたいことや目指している授業を実現するために、何が必要なのかを一緒に考えることができます。現地の先生と一緒に授業を行うことは、一人で授業を行うことよりも大変なことです。これからの2年間、お互い信頼できるような関係性を築くことができるのだろうか…、というような不安はありますが、私にできることは、とことん CP の先生と「話し合う」ことを諦めず、「向き合う」姿勢を持つことだと考えています。

また私は、一つひとつの授業を考える時に「形式」を重視するのではなく「根本」を重視する、ということも CP に伝えています。CP は、「学習者に何を学んでほしいのか」「何のためにこの活動を行うのか」を第一に考えることをあまりしないで授業を組み立ててしまうこともあります。授業を考える際にはまず、先に活動を考えるのではなく、「学習者に何を学んでほしいのか」「何のためにこの活動を行うのか」を考えることにしました。そうすることで、CP が目指している授業が私にも理解することができ、教師側の視点から学習者の視点に立ち、授業を行うことができるようになると思います。

このように、「話し合う」ことを諦めず、「向き合う」姿勢を持つことや、「形式」を重視するのではなく、「根本」を重視することは、日研や森を経験してきたからこそ今活かすことができていると思います。

一方で、課題もたくさんあります…、課題しかありません。「お互いを理解する」という意識を持ち、CP と授業の計画と実施を行っていますが、お互いを理解、そして、信頼し合えるような関係を築くことができているとは言えません。また CP は、授業後すぐに次の授業に行ってしまうため、なかなか振り返る時間を持つことができていないということも課題だと考えます。まだまだベトナムの日本語教育に関わる中で、満足に対応できていない部分もありますが、日研での経験を自信に持ち、これからもベトナムの日本語教育で少しでも役に立てるよう頑張りたいです。

4) ハノイでの生活



7:00 起床

朝は、家の近くのバインミー（焼いたフランスパンに卵や肉を挟んだ食べ物）を食べることが多いです。100円



安くて美味しい食べ物がたくさん！



8:30 出勤

教案作成をしたり、行事や授業のミーティングを行ったり、あっという間に時間が過ぎていきます。学期期間中は、中学校に行き、授業をすることもあります。ベトナムの中学校の開始は早い（1限は7:30～）朝起きるのが大変です…笑。



12:00～13:30 昼食

昼食は毎日、職場の日本人スタッフと食べに行きます。机と屋根のないようなところでフォーを食べることもあります笑（でも、美味しい!!）。ハノイには日本料理店もたくさんあるため、食事に困ることはありません。

中学校の授業が終わったら、午後から出勤をし、自分の授業の振り返りをしたり、教案を作成したりしています。

退勤 17:30

仕事が終わらず、19時ごろ帰宅します。。

帰宅後

帰宅後は、インターネットをしたり教案を作成したり…。ゆっくりできているような笑。

就寝 23:00

Zzz
…